

小中学校、幼稚園で入学・入園式

4月9日に中学校で、10日に小学校で、11日に幼稚園でそれぞれ入学・入園式が行われました。真新しい制服に身を包んだ新入生の皆さんは、先生方や在校生に温かく迎えられ、これから始まる新しい生活に期待を膨らませているようでした。新しい環境に早く慣れ、楽しい学校生活を送れるといいですね。

各小中学校の一年生の人数は次のとおりです。

- ・馬頭小学校 49名
- ・馬頭東小学校 13名
- ・馬頭西小学校 7名
- ・小川小学校 43名
- ・薬利小学校 7名
- ・小川南小学校 3名
- ・馬頭中学校 112名
- ・小川中学校 51名

デマンドタクシー利用者2万人達成

4月9日、デマンドタクシー「なちやん号」の利用者が2万人を達成しました。2万人目の利用者となったのは佐藤康子さん(小砂)で、大金町長と馬頭観光タクシー大久保社長より、花束と記念品が贈られました。佐藤さんは「以前は、バス停まで約1キロ歩かなければならなかった。デマンドタクシーは自宅の前まで来てくれるので便利で、利用料金も一律なので助かる。これからも安心して利用していきたい」とおっしゃっていました。

まだ利用されていない方、まずは利用登録をしてみたいかがでしょうか。登録は役場総務課又は小川庁舎総合窓口で受付けています。



入学・入園 おめでとう



馬頭中学校



馬頭中学校



小川中学校



小川小学校



馬頭西小学校



小川中学校



ひばり幼稚園



小川南小学校



小川南小学校



ひばり幼稚園



小川幼稚園



小川幼稚園



講演会「平穏死のすすめ」

4月12日、あじさいホールで、特別養護老人ホームかたくりの郷主催の「平穏死のすすめ」口から食べられなくなったらどうしますか」と題した講演会が開催されました。講師は、特別養護老人ホーム芦花ホーム(東京都世田谷区)常勤医の石飛幸三氏。飛石氏は、口から食事を取ることが困難な終末期の高齢者への不必要な延命措置を避ける「平穏死」を提唱しています。講演では、超高齢化社会を迎えた今、高齢者自身が人生の終末を安らかに迎えるために、医療が老衰にどこまで介入するのか真剣に考えなければならぬと訴えました。講演会には町内外から医療・介護従事者約百五十名が参加し、メモを取りながら真剣に話に聞き入っていました。

環境教育用マンガを贈呈

町環境のまちづくり推進会議と町内各小中学校、学官連携先である宇都宮メディア・アート専門学校との三者で連携しながら作成を進めてきた環境教育用小冊子「なちやんと歩くんの エコエコ大作戦」(小学5年生用)が完成し、4月25日、小川南小学校体育館で贈呈式が行われました。

贈呈式では経過説明などの後、専門学校のマンガアートの科の学生7名が、5年生12名の一人ひとりに小冊子を手渡しました。式が終了すると受け取った小冊子を見ながら、学生と小学生とで談笑していました。前年度は4年生用を制作しており、今後、中学1年生用までを順次作成していく予定です。



「まほろばの湯」入館者が150万人に

4月27日には、まほろばの湯湯親館の入館者数が、平成14年4月のオープン以来、150万人を達成しました。

150万人目の入館者となったのは大金ミチさん(小砂)で、「近くなので毎週利用しています。電気風呂が一番魅力ですね。昨日もこの温泉に来たばかりで、自分が150万人目と聞いてびっくりしました。」と驚かれました。

大金さんは、直前に到着した鈴木義一さん(壬生町)、後から来た大津和郎さん(水戸市)と一緒に、大金町長等から花束や記念品の招待券などを贈られました。

